

のしろ
国道7号能代地区線形改良の開通時期の見直しについて

- 能代地区線形改良（延長2.0km）については、令和6年度の開通を目指し、鋭意事業を進めているところです。
- しかし、今年1月に切土工事中の法面で変状（延長8m、幅25mmのクラック）が確認され、応急対策として押え盛土を行い、地質調査等を行っているところですが、想定以上に時間を要しており、今後、学識者・専門家の助言を得ながら恒久対策を検討し、施工を進める予定です。
- 当該法面変状箇所以外の工事については、計画通り進捗していますが、このような状況から、令和6年度開通予定としていた開通時期の見直しが必要な状況です。
- 開通時期については、今後、法面の安定対策状況を踏まえて、工程を精査し、お知らせいたします。

■開通時期の見直し

《現在》

令和6年度開通予定

⇒

《見直し後》

開通時期については、法面の安定対策状況を踏まえて工程を精査

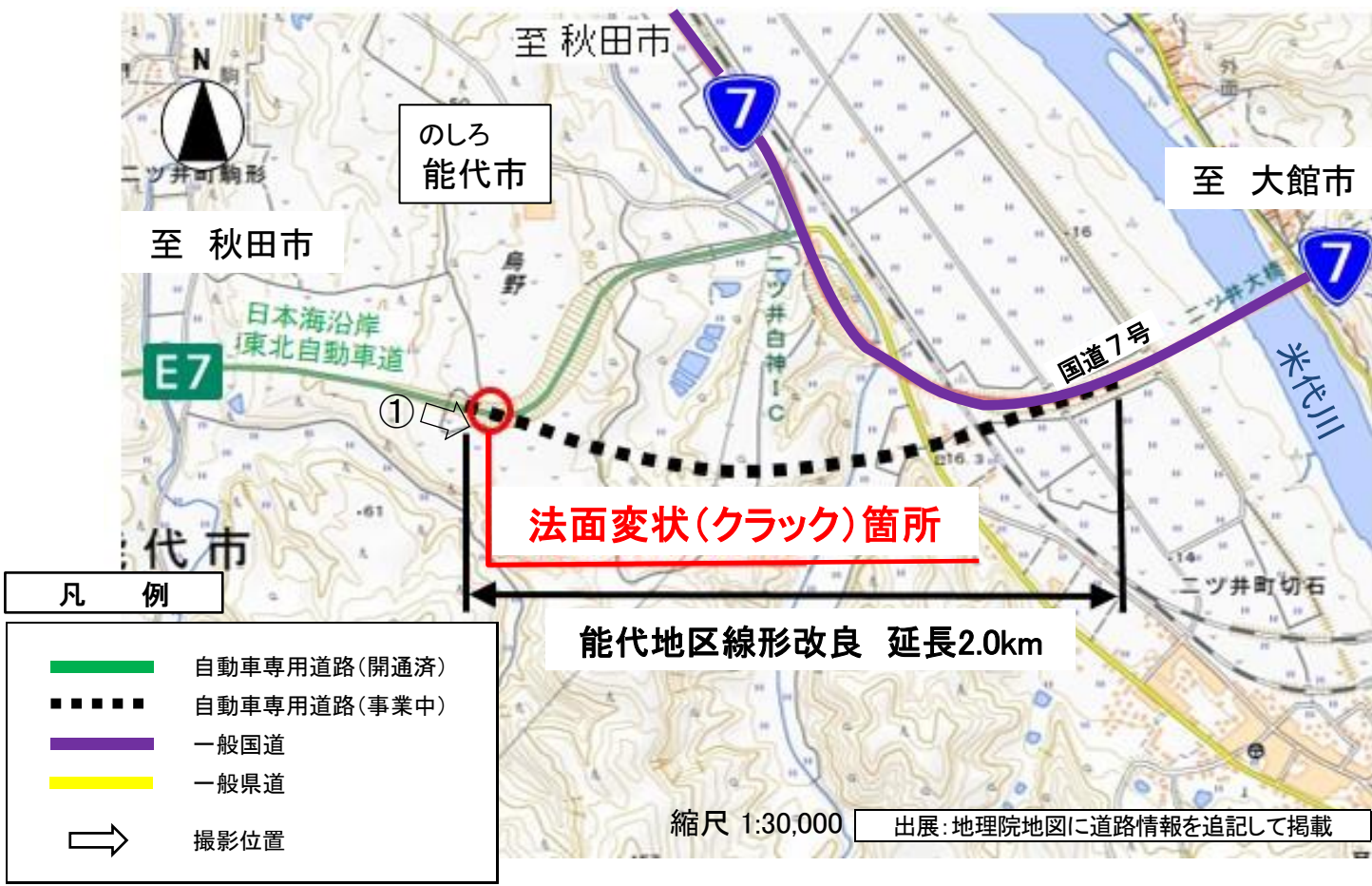
<発表記者会：秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ>

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所

電話番号：0185-70-1001（代表）

副所長（道路担当） 大久保 広 （内線205）



②クラックの状況

モルタル吹付面に延長8m、幅25mmのクラックが発生

